

オーストラリアの幼稚園

には3歳と4歳の保育があり、4歳は週に3回各3時間、3歳は週に2回各2時間半です。しかし、州や地域によって状況は違っています。費用は年間8万円ぐらいです。

日本のように入園式などはなく、初日から普段と同じように始まります。オーストラリアらしく、クラスの名前はコアラ、ウォンバ

親が幼稚園の手伝い

ヨーグルトなど。うちの子はおにぎりを持っていき、友達に珍しがられました。次に外遊び。オーストラリアは紫外線の強い国なので、夏場は帽子がかかせま

でお母さんが幼稚園の手伝いをします。子どもの工作の手伝い、おやつテーブルの片付け、室内掃除。手

伝えない場合は、代わりにお金を支払わなければなりません。デューティは、幼稚園での子どもの様子を知らる良い機会でもあります。他に、「ワーキングビー」(Working Bee)

という活動もあります。「働きバチ」という名のとおり、週末に幼稚園のために働くのです。園内の遊び場を整備したり、植木を刈ったり、壁のペンキ塗りをしたり。力仕事も多いので、お父さんたちも積極的に参加します。

ット、カンガルー! 幼稚園の活動はまず、室内遊び。四つ五つのテーブルにお絵かき、工作、パズル、粘土などが用意され、順番に好きなテーブルを回ります。室内遊びの後は、家から持ってきたおやつの時間です。フルーツ、クラッカー、

せん。最後に室内で手遊び歌や踊りをしたり、先生が絵本を読んでおしまいです。全体の活動はごく一部で自由遊びの時間が多く、その中で友だちと遊具を共有したりルールを守ったりと、社会性を学ぶ指導をしているようです。

一番驚いたのは、幼稚園の活動に親が幅広く参加していること。まず、「デューティ」があります。交代

「ファンドレージング」(fundraising)もたくさん行われます。商品を店から安く購入して販売し、売り上げを幼稚園に寄付するのです。チョコレート、ワイン、台所用品などいろいろな物が売られます。年に一度の大イベント

「デイスーパーティー」も親が協力します。なかなか本格的で、ミラーボールの回る中、おしゃべりした子どもがのりのりで踊っている姿はかわいいものです。(新山直子、メルボルン在住)

コアラ組、カンガルー組



幼稚園で粘土のカップケーキを作って遊ぶ子どもたち